

【最重点事項】

5. 会津磐梯高原エリアの旧観光有料道路(磐梯吾妻スカイライン・磐梯吾妻レークライン・磐梯山ゴールドライン)の整備・補修の維持について

磐梯吾妻スカイライン、磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドラインの3ラインは、磐梯高原を代表する観光スポットであり、東日本大震災等により交流人口が減少している中、平成23年7月から実験的に無料化され、多くの方々に利用されました。さらに平成25年7月25日、建設費の償還を終えたことで一般県道となり、恒久無料化されました。これまでの関係機関の取り組みに対して心から御礼を申し上げます。

各道路とも個性に溢れ、磐梯吾妻スカイラインは吾妻の山並みを走るパノラマコースとして、その絶景に何度も訪れる人が多く、「日本の道100選」にも選ばれています。磐梯吾妻レークラインの秋元湖・小野川湖・桧原湖の湖沼と、カラマツなどの樹林が織り成す風景は、レークラインならではの楽しみであり、中間地点の中津川渓谷は県内外のカメラマンが集まる絶好のビューポイントとなっています。磐梯山ゴールドラインは、大小様々な湖沼群が点在し、磐梯朝日国立公園“宝の山磐梯山”を存分に堪能できる道路であります。

しかしながら一般県道化により、「観光有料道路」であったことの意味が薄れ、従前同様に観光客にその魅力を提供しないと利用者離れを招きかねない恐れがあります。周辺の磐梯山エリアはその特異な地質・地形学的価値を生かして「日本ジオパーク」に認定され、さらに世界ジオパーク認定を目指しております。こうした地域活性化に向けた動きを支援するためにも3ラインの整備・維持に対して下記事項を強く要望致します。

記

1. 3ラインは会津磐梯高原エリアを代表する観光資源であるとの観点から、維持・補修に関しては、特段の配慮をすること
2. 浄土平駐車場の無料化により、料金収入で実施していた周辺環境整備などサービスの低下が生じないようにすること



会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

6. 道路整備予算の確保について

道路は、地域の活性化と豊かな生活を実現するための最も基本的な社会資本であります。特に道路網の整備が遅れている地方にとって重要な生活基盤施設であり、その整備促進は、潤いのある生活の実現と、活力ある地域社会の形成にとって不可欠のものであります。

このような中、被災地の復興を後押しすること等を背景に公共事業予算の漸減傾向に歯止めがかかったことは、従前より地方における道路整備の必要性を訴えてきた当団体としては安堵するものであり、関係者の尽力に感謝申し上げます。今後とも個性ある地域づくりと経済活動の回復を進めるためにも、地方の道路整備を今まで以上に進める必要があります。社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金は、地方の道路整備を進めるためには必要不可欠であり、毎年、確実な予算の確保が必要です。

会津地域は積雪寒冷地として厳しい気象条件や、山岳の多い地形条件等に対して、十分な対応がなされていない道路が依然として残っております。更に、当該地域は過疎化・高齢化の問題を抱える地域であり、特に高齢化が進む南会津地方では、緊急患者の管外搬送率が36%と高く、国道の未整備区間や急勾配で急カーブが連続する道路構造などにより、緊急時の救命救急センターまでの搬送の多くは、1時間以内に到達することができない状況であります。1分1秒を争う状況下で搬送や応急措置の遅れにより、助かるはずの命が失われる事になります。このような「命を救う道」を確保することは緊急な課題であり、早急な整備が必要であります。また、会津若松市、喜多方市などの観光都市においては、電線類地中化や沿道緑化による都市景観の整備等、アメニティー豊かな道路づくりが求められております。

更には、若年層の地域への定住化および企業誘致の支援に向け、高速道路および地域高規格道路による高速交通ネットワークの整備が一層重要であり、快適で質の高い生活創造に向けて、様々な道路整備が必要であります。

つきましては、災害に強く、地域が連携し自立した多様性のある地域づくりと、安心して暮らせる環境づくりを図るため、今後も計画的な道路整備が必要であることから、下記の事項を強く要望致します。

記

1. 被災地3県の復旧・復興や地方の道路事情・課題を踏まえ、それらに対応した必要な予算を重点配分すること
2. 「社会資本整備総合交付金」は必要十分な額を確保するとともに、平成24年度で終了した「地方道路整備臨時貸付金制度」を継続して地域の厳しい財政を支援すること
3. 景気対策のため前倒し発注を行うとともに、遅れている地方の道路整備が進むよう、追加景気対策を行うこと
4. 豊かな生活の実現と、国土の均衡ある発展を図るため、市町村道から高規格幹線道路に至る道路網の整備を一層推進すること
5. 住民の生活空間を安全で快適な環境にするため、震災対策、防災対策、電線類地中化等、良好な沿道環境づくり及び交通安全対策等の事業を推進すること

会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

8. 地域高規格道路の整備促進等について

平成23年3月11日の東日本大震災は、未曾有の災害をもたらし、様々なインフラ機能を損なうなど、甚大な被害をもたらしました。特に道路インフラの寸断等により、緊急物資等の物流が遅れ、様々な被害をもたらし、改めて道路交通網等の均衡ある整備の必要性が実証されたところでもあります。

さて、「会津縦貫北道路」（喜多方市～会津若松市間）の13.1kmのうち、塩川ICから湯川北IC間の3.2km区間につきましては、平成21年10月4日に暫定2車線により供用開始され、続いて塩川ICから喜多方IC間が、平成23年11月6日に開通しました。平成25年度中には湯川北～湯川南IC間の2.2kmが開通し、地域としては大変喜ばしいことであり、さらに平成27年度予定の会津若松北ICまでの全線開通が待ち望まれております。

また、平成10年6月には「会津縦貫南道路」（会津若松市～南会津町間）が計画路線、「栃木西部・会津南道路」（南会津町～今市市間）が候補路線へ指定となり、このうち、平成11年12月には、下郷町内の約9kmが調査区間に指定され、平成19年3月には同区間が整備区間に、更に下郷町から南会津町までの約9kmも調査区間に格上げされ、平成24年度には下郷町の湯野上バイパス（高崎～塩生間8.3km）が国直轄権限代行事業となり、関係各位に対し深く感謝申し上げます。

しかし、平成20年9月21日供用開始された国道289号甲子トンネル開通により、大内宿等を訪れる車両が国道121号・118号に流れ、観光シーズンや週末などを中心に渋滞をきたしており、地元関係者により平成21年2月に「大内宿周辺地域渋滞対策協議会」が設立され、情報提供や迂回路を活用してもらう等のソフト面から対応しておりますが、救急車両などの通行にも支障をきたす状況でもあり、会津縦貫南道路の整備促進が必要となっております。

今後は、国道121号と連続した会津縦貫道により、山形県米沢市から栃木県小山市まで連携強化を図るため、早期整備が強く求められております。つきましては、高速交通時代をより一層確実かつ強固なものとし、地域間の交流促進と交通円滑化を図るため、下記の通り早期に建設促進及び地域高規格道路指定が図られますよう、強く要望致します。

記

1. 「会津縦貫北道路」の早期全線開通を図ること
2. 「会津縦貫南道路」の整備区間（下郷町地内の約9km）について、早期整備を図ること
3. 「会津縦貫南道路」の調査区間（下郷町から南会津町までの約9km・5工区）について、整備区間への格上げに向け、計画的な事業促進を図ること
4. 「会津縦貫南道路」の計画路線区間について、早期に調査区間への格上げを図ること
5. 「栃木西部・会津南道路（南会津田島～栃木県日光市間）」の計画路線への格上げを図ること
6. 沿線観光地が通過点とならないようにICからのアクセスや効果的な看板設置等に配慮すること
7. 必要な道路整備財源の確保を図り、「会津縦貫北・南道路」が会津の縦軸となるようその接続を含めて一体的に整備を進めること
8. 凍結等の路面環境の変化による事故の防止対策を進めること



会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

9. 国道121号の指定区間編入について

国道121号大峠道路「福島2工区」の6.63kmのうち、県道熱塩加納山都西会津線から県道日中喜多方線間の約2.5km区間につきましては、平成21年12月19日に2車線で供用開始され、また、平成22年9月11日に全線開通しましたことは、地域として大変喜ばしいことでもあります。

国道121号は、山形～福島～栃木各県の中央部を縦貫する唯一の幹線道路であり、沿線の産業、経済および文化等の発展に欠く事の出来ない広域ルートであります。

特に、観光庁が進めている「会津・米沢観光圏整備事業」によるエリアであり、ビジット・ジャパン事業の中核として、自然環境、歴史、文化、温泉地、観光地等、日本を代表する蔵王国定公園・磐梯朝日国立公園および尾瀬国立公園や日光国立公園を結ぶ広域観光ネットワーク道路として、非常に重要な道路でもあります。

更に、米沢地区、会津地区、宇都宮地区は、半導体や精密機械等の工場が多く立地しており、経済産業道路としても非常に大きな役割を果たしております。

このような状況の中、当該地域を縦断する広域幹線道路として、山形県米沢市から栃木県益子町までの国道121号全体を、国の直轄道路として指定区間へ編入して頂き、国道4号の災害時の迂回路（リダンダンシー）として、また、会津縦貫道との接続路線であり、冬期間を含め安定した地域間交流の確保はもとより、安全で安心できる生活環境づくりのための広域道路として早期整備を行うとともに、高い管理水準の確保が求められています。

なお、当該地域における移動交通手段としては、自動車に大きく依存している事から、国道121号の交通隘路区間の解消が、地域間の交流・連携等、これからの地域づくりにとって不可欠な基盤整備であります。

つきましては、地域が連携し自立した個性あふれる地域づくりのため、その基盤である道路網の整備が不可欠でありますので、下記の事項について強く要望致します。

記

1. 山形県米沢市から栃木県益子町までの国道121号全線を指定区間への編入を図り、整備の促進と高い管理水準の確保を図ること
2. 国土交通省東北地方整備局（仮称）会津若松国道事務所の設置を図ること
3. 国道121号全線を産業観光基盤路線として、山形県米沢市から栃木県益子町までの自然、歴史、文化、産業遺産等を活かした、ビジット・ジャパン事業の中核拠点として、更に、環境に配慮した広域道路ネットワークづくりの為に早期整備を図ること
4. 国道121号山王峠から会津若松間にゆずりあい車線並びにチェーン装着所の設置および田島バイパスの早期整備を図ること

【最重点要望】

10. 国道252号（六十里越峠）通年通行の早期実現並びに

磐越自動車道からのアクセス道路としての改良促進等について

国道252号福島県只見町～新潟県境の山上湖「田子倉湖」と世界遺産級のブナの山々に囲まれ越後三山只見国定公園内を走る「六十里越（雪わり街道）」は、地域の生活道路とともに観光道路としても重要な路線であり、特に、尾瀬、北関東方面、会津若松市をつなぐ観光ルートとして多くの観光客が訪れております。

今後とも、六十里越道路第1次整備計画の検証並びに見直しを図るとともに、春のゴールデンウィーク前には必ず再開通が可能となるよう、今後も通行不能箇所等が出ない為の防災対策の徹底と、防雪工事等の整備促進を強く望んでおります。

また、磐越自動車道の開通以来、その沿線町村が得られた経済的・社会的恩恵は多大であり、交通網の整備による都市部との移動時間の短縮こそが、過疎地における生活環境の向上や、観光産業の振興に大きな直接的効果をもたらすものであります。また、磐越自動車道・会津坂下インターチェンジから只見町までは、未改良区間が残っており、多くの時間を要しております。

以上のことから、下記事項の早期実現を強く要望いたします。

記

1. 防雪対策、防災対策の徹底促進を図ること
2. 雪崩、落石等の危険箇所へスノーシェッド等の設置を図ること
3. 早急な防雪工事着手への促進を図ること
4. 追い越し車線、ゆずりあい車線の道路改良を図ること



【最重点事項】

1.1. 国道289号（八十里越道路）の早期開通について

国道289号（八十里越道路）の交通不能区間につきましては、すでに国直轄事業として、八十里越道路11.8kmについて工事が着手され、平成22年10月に福島・新潟県境の約3kmに亘る9号トンネルが貫通されたこと、改めて関係各位に対しまして深く感謝申し上げます。

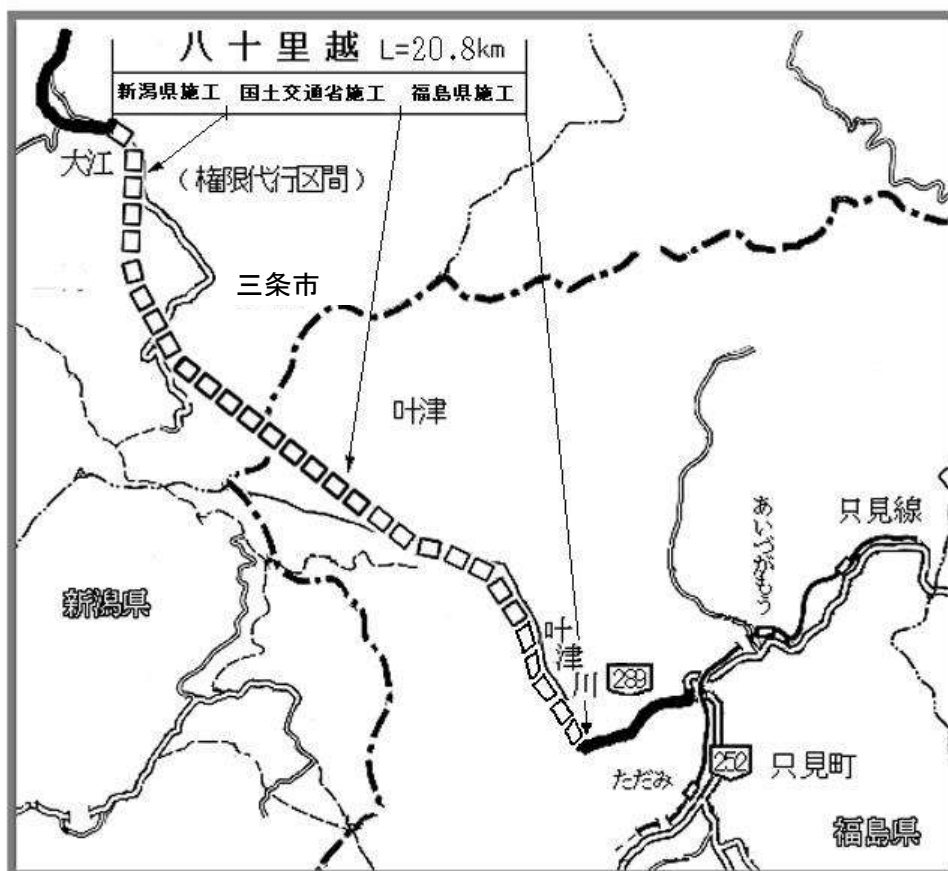
本路線は、新潟市を起点とし、南会津地方・県南地方を経て、いわき市とを結ぶ、実延長301.6kmの日本列島を横断する幹線道路であり、磐越自動車道の高交通網から距離のある南会津地域に、産業・文化・経済の新たな連携軸であるとともに、「新編 歳時記の里・奥会津」活性化地域、21世紀FIT構想地域へのアクセスとなる基幹道路でもあります。

しかしながら、新潟県境の八十里越道路の交通不能区間に阻まれており、国道の担うべき役割が十分に果たされず、加えて平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨による土砂崩れや道路の崩落等により、国道252号六十里越が通行止めとなり新潟県へのアクセスが不能となり代替路線の確保が緊急の課題となっています。

只見町など沿線自治体では救急・観光などの暫定活用に向けて協議しておりますが、福島、新潟両沿線住民にとって地域振興のための広域幹線道路として、早期開通は悲願でありますので、交通不能区間の解消により、一日も早い全線開通が図られますよう、下記の事項について強く要望致します。

記

1. 磐越自動車道、国道49号、国道252号の代替路線として早期暫定開通を図ること
2. 八十里越道路の早期全線開通を図ること



会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

1.2. 国道400号舟鼻峠と杉峠の整備促進について

本路線は、茨城県水戸市を起点とし、本県の南会津町田島を通り、下郷町、昭和村、金山町、三島町、柳津町、西会津町を經由し、会津西部の国道49号へとつながる、当地方の地域開発と産業経済の振興に不可欠な幹線道路であります。

舟鼻峠には生活路線バスも運行されており、日常生活においても極めて重要な路線となっております。しかしながら、舟鼻峠は幅員狭隘にして屈曲部が多く、本路線最大の難所であり地域の活性化と発展を著しく阻害し、過疎化の要因となっている現状にあります。平成21年度には第2工区が整備され、冬期間の通行が可能になったことは、非常に喜ばしいことではありますが、まだまだ狭隘で屈曲部が多くあり通行に支障をきたしております。舟鼻峠の全面整備による交通路の確保は、地域の長年の願いであり、地域振興と活性化を図る上で、当地域の重要な課題であります。つきましては、供用開始となった田島第1工区、第2工区に引き続き、第3工区の事業促進、改築未採決区間の早期採択と早期着工並びに舟鼻峠全体の早期整備が図られますよう、要望致します。

また杉峠は三島町と西会津町間を最短距離で結ぶ、磐越自動車道・西会津インターチェンジ及び国道49号、国道252号に直接アクセスできる路線です。古くから産業経済の発展及び文化交流など生活に密接した道路として、会津西部の地域振興に欠かせない最も重要な道路ではありますが、現状は急勾配・急カーブが連続して幅員も狭く、普通車同士のすれ違いができない箇所もあり、冬期間は通行不能となる難所であります。つきましては、豊かな生活と活力ある地域づくりを実現して均衡ある発展を図るため、地域住民の積年の願いであります「杉峠」工区の早期改良に特段の配慮を賜りますよう強く要望致します。

記

1. 田島第2工区と舟鼻トンネルを接続する第3工区の事業採択と早期着工を図ること
2. 舟鼻トンネルから昭和村両原字白森山地内に至る間の幅員狭隘にして屈曲はなはだしい箇所の早期改良促進を図ること
3. 杉峠工区の早期改良促進を図ること



【最重点事項】

1 3. 国道401号の整備促進とトンネル化推進について

本線は、国道121号と国道252号の間であって、会津中核都市の会津若松市と奥会津中部地方、更には群馬県とを結ぶ産業の振興、観光開発等、地域の振興と発展に欠かせない路線であり、救急医療など地域の日常生活にも密着する極めて重要な道路であります。山岳豪雪地帯を通過するため、冬期間においては約5ヶ月間交通途絶を余儀なくされ、地域の発展を著しく阻害しています。

特に、平成23年7月末に発生した新潟・福島豪雨においては、国道252号通行止めによる迂回路として緊急時の代替え路線としての重要な役割を果たしましたが、狭隘また屈曲部が多く大型車においては通行不可能となっております。

積雪地方にとって、冬期交通道路の確保と整備は、地域の振興と活性化に欠かせない重要な課題であり、当路線がトンネル化され通年通行が可能な道路になれば、会津若松方部と南会津方部との交流活性化が図られ、その経済効果は計り知れないものがあります。

また、南郷～桧枝岐間の国道401号は、尾瀬国立公園に指定された尾瀬・桧枝岐村に通じる重要な観光と生活幹線道路であり、南郷地区の一部（山口地内約360m）が平成21年3月に供用されたところでありますが、地域の実情をご賢察頂き、引き続き下記の通り、継続整備とトンネル化を強く要望いたします。

記

1. 博士峠及び新鳥居峠の冬期通行不能期間のトンネル化推進と早期着工を図ること
2. 南会津町南郷地区から桧枝岐村間の整備促進継続を図ること



会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

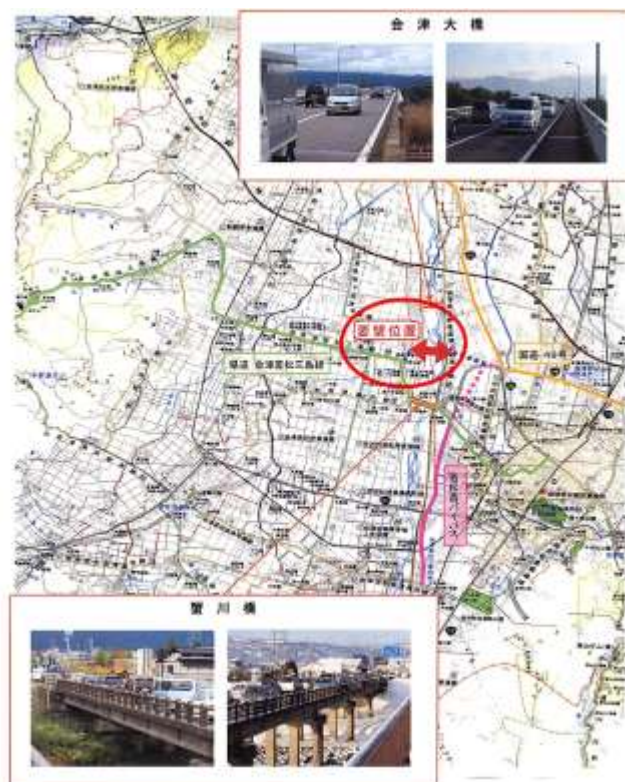
1 4. 阿賀川新橋梁早期架橋について

会津若松市と会津美里町、会津坂下町、柳津町、金山町等は一級河川阿賀川で分断されており、現在、本郷大橋・高田橋・蟹川橋・会津大橋の4つの橋で連絡されておりますが、通勤、通学、買い物などで多くの方々が利用しており、特に朝夕には交通の渋滞が慢性化しております。また蟹川橋は幅員が狭いうえ、老朽化しており、冬期間の交通混雑を引き起こす要因となっております。

本橋梁の架橋に当たっては、若松西バイパス、会津縦貫道路を含む幹線道路と接続する一体的整備を図ることにより、広域交通ネットワークが格段に強化される効果が期待されます。さらに会津地域の産業・経済・文化の振興及び生活環境の向上と会津地域全体の活性化に寄与できるものと思慮していることから、下記の事項について強く要望致します。

記

1. 蟹川橋と会津大橋の中間地点である国道49号（会津若松市町北町地内）から主要地方道会津若松三島線（会津若松市北会津町蟹川地内）を結ぶ橋梁の早期架橋及び道路整備を図ること



会津方部商工観光団体協議会（38団体共同）

【最重点事項】

1.6. 会津若松・熱塩温泉自転車道線の整備促進について

会津地域は、磐梯山・雄国沼・飯豊連峰に囲まれ、田園風景が広がる自然豊かなところであり、また、個性ある交流空間の創出はもとより、生活・文化・経済活動においても新たな展開を試みているところでございます。

現代人は、豊かな自然に親しむ傾向が高まっており、特に空前の自転車ブームの昨今、一級河川の阿賀川・濁川等の堤防を利用したサイクリングロード整備は、豊かな自然を活かした魅力ある地域づくりに寄与するものであります。湯川村、会津坂下町で現在整備が進められている「人の駅・川の駅・道の駅」事業など魅力的な観光資源と連携して延伸・整備を進めることで地域の活性化など、当地域の振興に果たす役割は極めて大きく期待を寄せているものでありますので、下記の整備促進について強く要望致します。

記

1. 早期全線供用開始に向けた一層の整備促進を図ること



【重点事項】

1. 国道49号の整備促進について

国道49号の整備については、平成17年11月に猪苗代拡幅の金曲バイパスが開通した事をはじめ、着々と整備されていることに対し、心より感謝申し上げます。

国道49号は、いわき市を起点とし、会津地方を横断し、終点の新潟市に至る総延長241.2kmの南東北で唯一、太平洋と日本海を結ぶ国直轄管理の国道であり、磐越自動車道と共に、地域間交流・連携・産業経済に欠かすことの出来ない重要路線であります。

しかし、年々交通量の増加に伴い、渋滞が発生しており、特に週末時や春・秋の観光シーズン、及び冬期間のスキーシーズンには渋滞が深刻化しております。

また、磐越自動車道は、豪雪地帯の会津地方を横断することから、吹雪等により通行止めとなる事も度々あり、国道49号は、災害時等の代替路線（リダンダンシー）として重要な路線であり、更には、磐越自動車道の通行止めの際には、渋滞が起きている状況にあります。

つきましては、国道49号の整備の重要性が一層高まっていることから、早急に拡幅等の整備を促進し、国道としての機能強化が図られますよう、下記の項目について強く要望致します。

記

1. 猪苗代拡幅事業箇所「猪苗代町壺楊～猪苗代町長田（延長7.3km）」の整備促進を図り早期に供用すること
2. 猪苗代地区（猪苗代町西久保および猪苗代町長浜～会津若松市笹山原）の4車線拡幅整備を図ること
3. 会津若松市内河東地区（会津若松市内河東町八田～会津若松市船ヶ森）の4車線拡幅整備を図ること
4. 会津若松地区（神指町北四合～会津坂下町宮古橋）の拡幅整備を図ること
5. 坂下地区（会津坂下町宮古～会津坂下町新富町）の拡幅整備を図ること
6. 柳津地区藤峠の登坂車線の整備を図ること
7. 会津坂下町～西会津町間において線形改良など冬季交通障害への抜本的対策を図ること



会津若松商工会議所・会津若松観光物産協会
会津坂下町商工会・(社)会津坂下町観光物産協会
柳津町商工会・柳津観光協会
西会津町商工会・西会津町観光協会
あいづ商工会

【重点事項】

2. 国道118号の整備促進について

水戸市を起点とし、須賀川市～天栄村～下郷町を經由し、会津若松市に至る国道118号は、会津地方と福島県中・県南地方を最短ルートで結び、地域の産業や文化の振興を支えるとともに、福島空港へのアクセス道路としての役割を果たす重要な路線であります。

また、福島（F）茨城（I）栃木（T）三県の連携交流の促進にむけた「FIT構想」の実現を支援する主要道路の一つとして、更には、首都機能移転の候補地である北東地域への重要なアクセス道路として重要な路線と考えられます。

しかしながら、現状路線は天栄村内の鳳坂峠をはじめ、依然として一部に狭隘、屈曲部が点在し、終点部の会津若松市においては、交通渋滞や歩行者等の安全確保といった交通障害が発生しております。

また、平成10年8月末豪雨で被害を蒙った際には、会津地方と県中・県南地方を最短ルートで結ぶ本路線の果たすべき役割が十分に発揮されない状況が生じた事もありますことから、下記の事項について、早急に整備促進されますよう強く要望致します。

記

1. 若松西バイパスの建設促進を図ること
2. 下郷町二川橋～東橋間の改良整備促進を図ること
3. 会津若松市大戸町上三寄地区バイパス建設促進と鳳坂峠のトンネル化を図ること



建設促進が望まれる「若松西バイパス」



二川橋手前の狭隘な118号



狭隘で未整備な鳳坂峠

会津若松商工会議所・会津若松観光物産協会
下郷町商工会・下郷町観光協会

【重点事項】

3. 国道121号と主要地方道会津坂下・河東線の交差点改良

及びJR磐越西線 堂島駅周辺の整備について

平成25年5月に開設した、福島県立医科大学会津医療センター周辺の道路状況は、南北に国道121号、東西に主要地方道会津坂下・河東線があり、交通量が非常に多いところに加えて、そこを交わる交差点の一部において狭隘箇所があるため、慢性的な渋滞はもとより交通事故も多発している状況にあります。

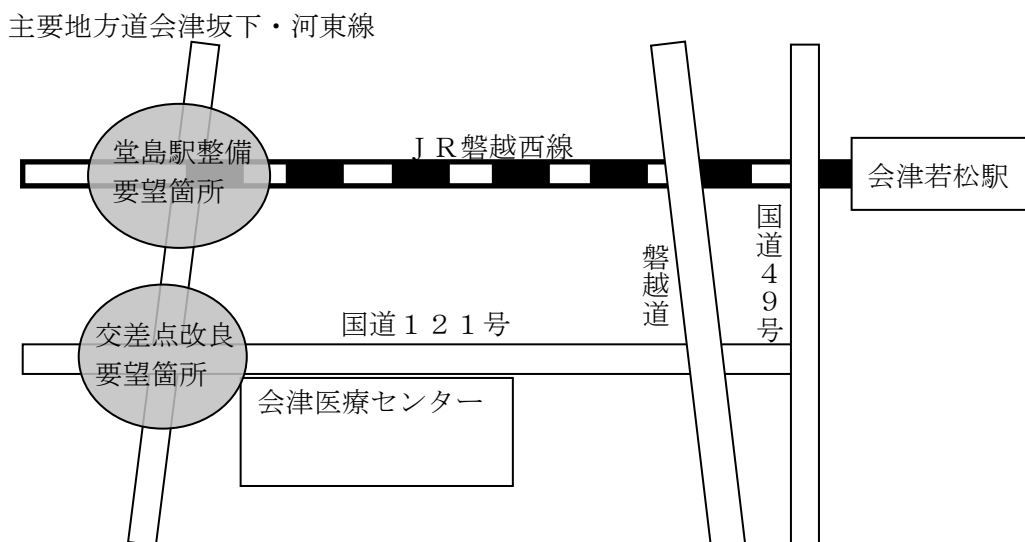
現在、国道121号につきましては、拡幅等の整備が進んでおり、県当局をはじめ関係各位に感謝を申し上げます。

しかし、主要地方道会津坂下・河東線の交差点改良等につきましては、まだ整備が進んでおらず、また、会津地区の中心的位置である当該箇所に会津医療センターが開設し、通院者を含め交通量は増加しております。

つきましては、通院患者の事故防止をはじめ、交通の渋滞緩和に向けた整備促進を、下記の通り強く要望致します。

記

1. 国道121号と主要地方道会津坂下・河東線の交差点改良整備を図ること
2. JR磐越西線「堂島駅」周辺のユニバーサルデザイン等に基づいた整備を図ること



【重点事項】

4. 国道294号と国道118号を結ぶ道路（背あぶり山トンネル化）の新設について

会津若松市は、会津地方の中核都市として発展して参りましたが、更なる産業・経済・文化の振興と健全な生活環境および都市基盤の向上を図るため、道路交通網の整備は不可欠なものであります。

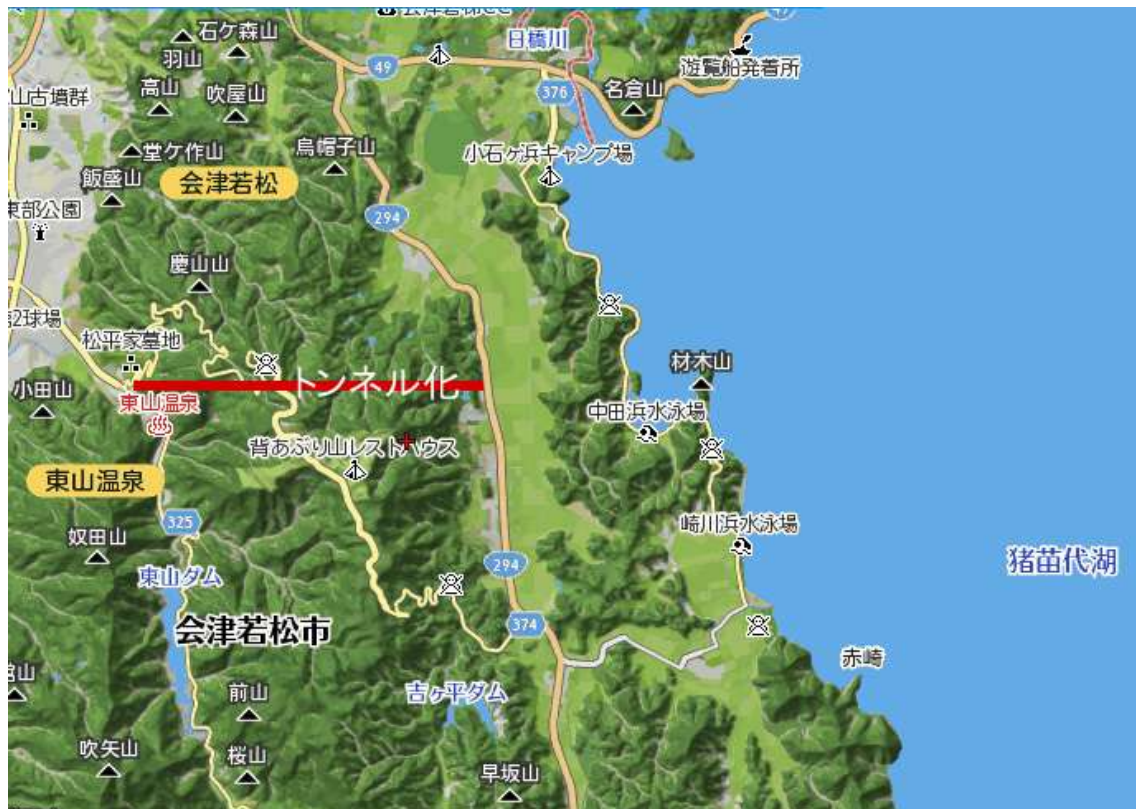
中でも、会津若松市湊町地内の国道294号より、県道東山温泉線を経て国道118号（門田町）に至るルートでのトンネル化による道路の新設は、本市の振興発展を図る上での大きな課題であります。

特に、本ルートの道路整備により、福島空港へのアクセス道路になることは勿論、県南・県中への最短距離となり、大幅な時間短縮が期待できるものであり、また、国道49号の交通渋滞解消並びに冬期間の交通確保など、地域の交通体系にも寄与するものであります。

加えてこの路線は、東山温泉の活性化や観光をはじめとする地域振興にとっても極めて重要となるものであり、下記要望の早期実現を強く要望致します。

記

1. 国道294号と国道118号を結ぶ道路（背あぶり山トンネル化）の新設を図ること



【重点事項】

5. 国道352号の改良促進について

本国道は、新潟県柏崎市と栃木県河内郡上三川町を結ぶ延長329kmの沿線の地域振興にとって欠くことのできない重要路線であります。

特に、北関東圏と南会津西部地区を結ぶ路線として、地域の産業・経済・文化交流の面からも重要な役割を担ってまいりました。

また、沿線住民にとって唯一の生活道路であると同時に、尾瀬やスキー場への観光ルートでもありますので、マイカーや大型バス等の交通量が多い現状にあります。

しかし、中山トンネルは、幅員が狭小で大型車のすれ違いは困難な状況にあり、さらにトンネル前後も路面勾配が急峻・狭隘であるため、特に冬季間の通勤・通学、救急業務に支障をきたしている現状であります。

このような中、平成23年10月には、中山トンネル周辺の改良工事に着手され、平成24年4月、上り専用車線となる(仮称)新中山トンネルの貫通式が行われたことは、大変喜ばしいことであります。

つきましては、南会津地域は、特に観光を中心とする産業振興に積極的に取り組んでおり、本路線の一日も早い改良の実現こそが大きな前提条件でありますので、下記の事項について強く要望いたします。

記

1. (仮称)新中山トンネルと橋梁架け替え等工事、融雪工事の促進を図ること
2. 数間沢第2スノーシェット入口(田島側)の事故多発箇所の安全対策を図ること



平成24年4月23日の(仮称)新中山トンネル貫通式



南会津町商工会・南会津町観光物産協会
檜枝岐村商工会・尾瀬檜枝岐温泉観光協会

【重点事項】

7. 県道 153 号小林会津宮下停車場線の整備促進について

本路線は、三島町と昭和村を經由して只見町（小林）を結ぶ経済産業上重要な路線であります。

しかしながら、3町村を最短で結ぶ本路線は未改良区間も多く、また一部交通不能区間もあるため、地域の発展を著しく阻害しております。

平成22年5月24日、金山町玉梨字綱木地区の国道400号方面で落石があり、スノーシェットが一部変形破損し、金山～昭和間が通行止めになり、地域住民の商工業、通学、通勤、通院等に大きな影響を与えました。

つきましては、国道400号の代替路線として機能させるにも、三島町と昭和村間の美女峠並びに、昭和村と只見町間の吉尾峠の交通不能区間を早期に改良整備されるよう強く要望致します。



県道小林会津宮下停車場線

三島町から昭和村間の道路であるが、舗装道路から未舗装のままの箇所

県道小林会津宮下停車場線

三島町から昭和村間の道路であるが、未舗装のうえ、その先が車両通行止になっている状況である。



県道小林会津宮下停車場線

昭和村～只見間の吉尾峠の未舗装・通行止箇所



只見町商工会・只見町観光まちづくり協会
三島町商工会・三島町観光協会
金山町商工会・金山町観光物産協会
昭和村商工会・昭和村観光協会

【重点事項】

8. 県道 329 号湯ノ上会津高田線道路改良事業促進について

本路線は、南会津郡下郷町と大沼郡会津美里町とを結ぶ重要な路線ではありますが、今日のような車社会の現況にあって両町を境とする桧和田峠付近は、依然として交通不能区間であるため、一日も早く整備改良が望まれるところであります。

「桧和田峠」が開通することにより、地域間の産業・経済・観光・文化面の交流促進はもとより、高速道路、新幹線、さらには福島空港への最短アクセス道路として、地域へもたらす効果は計り知れないものがあります。

路線沿いには大内宿・伊佐須美神社があり、平成24年には年間約140万人の観光・参拝客が訪れており、観光産業はもとより、地域の活性化として不可欠な路線でありますので、早急な整備が図られますよう強く要望いたします。



会津美里町商工会・会津美里町観光協会
下郷町商工会・下郷町観光協会

【重点事項】

9. 沼沢湖への観光ルート設定と県道 237 号小栗山宮下線の改良について

只見柳津県立自然公園に指定されている県立公園只見川ラインは、四季折々の気候風土に恵まれた自然豊かな観光地として、多様化している現代観光に大いに貢献ができる可能性のある地域であります。

今後、県道小栗山宮下線の改良整備が図られ、大型バス乗り入れが実現されれば、只見川ラインは一躍県内屈指の観光地として、地域へもたらす経済効果は計り知れないものがあります。

また、県道 237 号小栗山宮下線は、平成 23 年 7 月末に発生した新潟・福島豪雨の際には、国道 252 号三島町早戸地内の通行止めによる迂回路として緊急時の代替路線の機能も果たしている奥会津地域にとって重要な路線となっています。

つきましては、下記事項について早期改良整備等を強く要望致します。

記

1. 宮下～沼沢間及び沼沢～小栗山間の早期改良を図ること
2. 沼沢湖の観光ルート設定を図ること



改良が望まれる県道小栗山宮下線



湖水浴で賑わう沼沢湖

金山町商工会・金山町観光物産協会
三島町商工会・三島町観光協会

【重点事項】

10. 県道352号布沢横田線・松坂峠のトンネル化推進について

只見町明和地区と金山町横田地区は歴史上からも古くから交流が続いており、県道布沢横田線は只見川流域と伊南川流域を最短で結ぶ重要な路線となっています。しかし、布沢地区と横田地区を結ぶ交通アクセスが悪く、特に路面が急峻で屈曲が甚だしく、かつ狭隘で冬期間は雪のため交通の途絶している状況にあり、地域間交流・経済の発展・地域振興を図る上で大きな阻害要因となっております。

本区間のトンネル化は、両町の地域住民にとって切なる願いであると同時に、奥会津地域内外との交流事業の推進はもとより、地域活性化・産業振興・観光開発を図る観点からも必要不可欠であり、また、平成23年7月末に発生した新潟・福島豪雨においては、国道252号金山町滝沢地内滝トンネルの通行止めによる迂回路として、災害発生時から平成23年12月までの5カ月もの長期にわたる、緊急時の代替路線の機能も果たした奥会津地域にとって重要な路線となっておりますので、本事業の促進を強く要望致します。



松坂峠(金山町側から)



金山町商工会・金山町観光物産協会
只見町商工会・只見町観光まちづくり協会

【重点事項】

1.1. 県道 346 号戸赤栄富線の整備促進について

本路線は、甲子トンネル開通に伴い増加した関東圏及び県南地方からの車両等を下郷町と昭和村間とを結ぶ重要な観光ルートであり、また大内宿と昭和村を結ぶ観光ルートとして地域開発と産業・観光の振興に不可欠な道路であり、かつ生活道路として極めて重要な役割を持つ路線であります。

しかしながら、下郷町～舟鼻トンネル～昭和村に至る間は、狭隘また屈曲部が多く大型観光バスの通行も困難を極め、しかも特別豪雪地帯のため、生活道路として冬期間の通行についても不便を極めており、産業・観光関係と地域振興の活性化と発展を著しく阻害しているのが現状であります。

つきましては、下記の通り戸赤栄富線の早期整備が図られますよう、強く要望致します。

記

1. 県道戸赤栄富線の整備促進を図ること



昭和村商工会・昭和村観光協会
下郷町商工会・下郷町観光協会

【重点事項】

1 2. 主要地方道 64 号会津若松裏磐梯線の整備促進について

主要地方道会津若松裏磐梯線については、細野～桧原間の「野鳥の森トンネル」が平成 22 年 4 月に完成し、引き続き桧原トンネルが平成 25 年 12 月完成の見通しで改築工事が進められていることに深く感謝を申し上げます。

本路線は、磐梯朝日国立公園内裏磐梯地区の桧原湖西側湖畔に位置し、国道 459 号から主要地方道県道 2 号米沢猪苗代線を通り、桧原湖を周回できる幹線道路であり、地域住民にとって最も重要な生活路線であるとともに、裏磐梯は本県随一の観光地として、年間約 300 万人の観光客が訪れる裏磐梯地域への観光道路としても地域に欠くことのできない重要な路線であります。

しかしながら、一部区間に非常に狭隘・屈曲な箇所が存在することから、観光シーズンは渋滞し、冬期間の除雪の支障にもなっており、円滑な交通確保に支障をきたしておりますことから、地域住民の安全と地域の活性化を図り、訪れる観光客に素晴らしい景観を安心・ストレス無く満喫して頂くためにも、主要地方道会津若松裏磐梯線の早急な整備促進が図られますよう、下記事項について強く要望致します。

記

1. 主要地方道会津若松裏磐梯線（北塩原村檜原地内）の整備促進を図ること



25 年 12 月完成予定の桧原トンネル



未整備区間（桧原・金山地区）

北塩原村商工会・裏磐梯観光協会

【重点事項】

1 3. 主要地方道 16 号喜多方西会津線の整備促進について

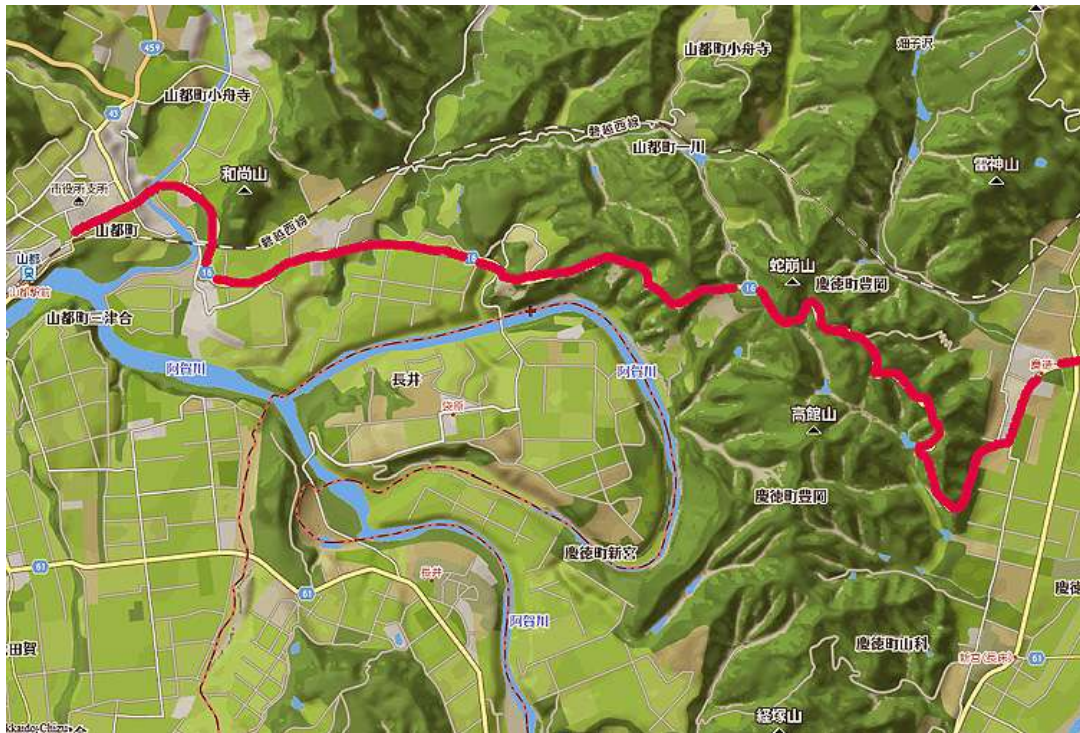
主要地方道喜多方西会津線については、平成20年度より慶徳峠の工事が着手されたことに対して、関係各位のご尽力に深く感謝を申し上げます。

本路線は、喜多方地方の東西の主要幹線道路であります。喜多方市慶徳町から喜多方市山都町間の慶徳峠は屈曲が多く急勾配のため、地域住民の冬期間の生活道路としては、非常に危険な状態となっております。

つきましては、地域住民の生活道路としての確保、また喜多方地域の活性化を図るうえで、本路線の整備促進は急務であることから、下記の通り強く要望致します。

記

1. 主要地方道喜多方西会津線（慶徳峠工区）の整備促進を図ること



会津喜多方商工会議所・喜多方観光協会
西会津町商工会・西会津町観光協会
きたかた商工会

【重点事項】

1 4. 主要地方道 72 号会津坂下会津本郷線の道路改良について

本路線は、国道 118 号の混雑を回避する迂回路として、また、国道 49 号、磐越自動車道へのアクセス道路として重要なことから、全線の早期改良（拡幅含む）を平成 7 年より要望してきたところであります。こうした中、県当局の深いご理解により、第 1 次改良工事が終了し、冬期間の安全確保と今まで以上にアクセス道路機能が向上し、重要な役割を果たすことが出来ることに対し、改めて厚く御礼を申し上げます。

しかし、本路線のうち、国道 401 号との交差点周辺については特に、通学時間帯は交通量も多く、更に歩道の幅員も十分に確保されていないのが現状であります。

つきましては、本路線の全線改良（幅員含む）への更なる取り組みを要望するとともに、下記の事項について強く要望致します。

記

1. 国道 401 号との交差点について渋滞解消、及び自転車・歩行者道の早期整備・改良を図ること



会津坂下町商工会・(社)会津坂下町観光物産協会
会津美里町商工会・会津美里町観光協会
あいづ商工会

【重点事項】

1 5. 主要地方道 69 号北山会津若松線の早期改良促進について

主要地方道北山会津若松線については、喜多方市塩川町金橋地内におけるバイパス工事、並びに会津若松市河東町福島・岡田地内における自転車歩行者道が整備されましたことに深く感謝申し上げます。

本路線は、北塩原村を起点とし喜多方市を通り、会津若松市に至る幹線道路であると同時に、地域の生活道路でもあり、沿線には国指定の重要文化財の八葉寺が位置し、経済・文化等、今後の地域振興に必要不可欠な重要路線であります。

しかしながら、一部に狭隘な箇所が存在し、定期バスとのすれ違いや住宅地域の通行にも支障をきたしている現状です。

以上のような現状を踏まえ、下記の箇所について強く要望致します。

記

1. 主要地方道会津坂下河東線との交差点改良整備を図ること
2. 主要地方道北山会津若松線喜多方市熊倉地内の整備促進を図ること



会津喜多方商工会議所・喜多方観光協会
北塩原村商工会・裏磐梯観光協会
きたかた商工会・あいづ商工会

【重点事項】

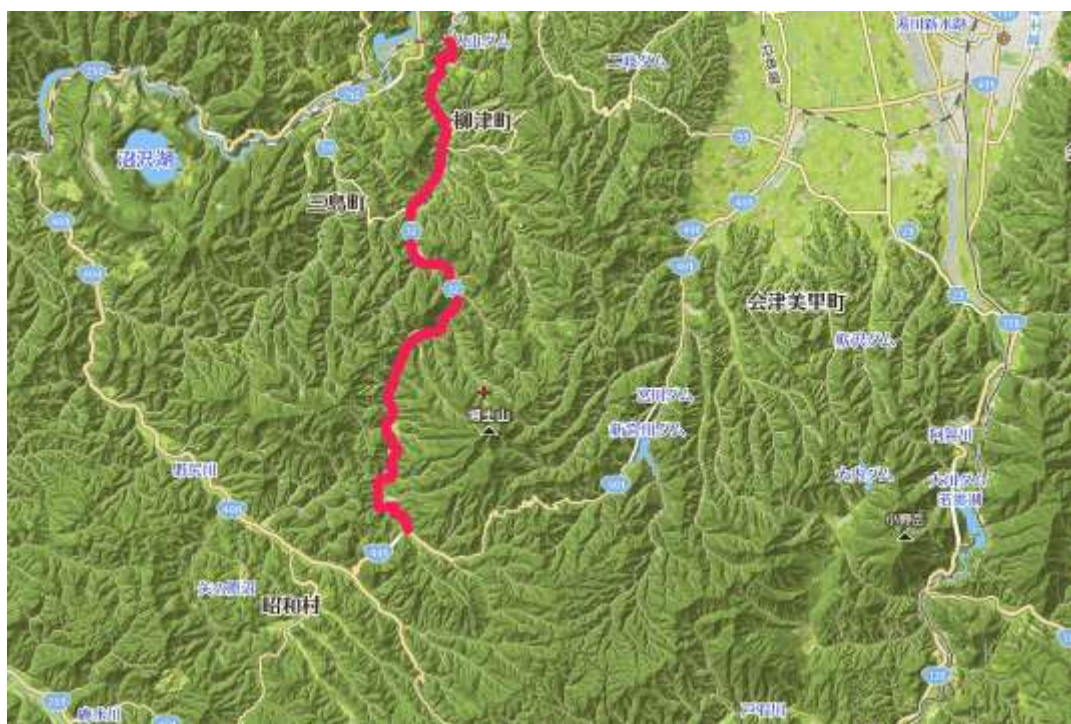
1.6. 主要地方道 32 号柳津昭和線の整備促進について

本路線は、柳津町と昭和村を結ぶ路線であり、地域住民の生活道路として、また、産業・経済の発展また観光ルートとして欠かすことの出来ない極めて重要な路線であります。

昨今では、平成 22 年 5 月 24 日に発生した落石により、金山町の玉梨スノーシェッドが破損し、主要道路である国道 400 号が全面通行止めとなり、当路線が迂回路となりましたが、一部狭隘なところもあり、地域の住民生活の様々な場面で不便をきたしております。

また、冬期間は通行止め区間の路線が多く、山間部を通る豪雪地帯で路面勾配が急峻かつ狭隘なため、柳津昭和線は地域の日常生活・観光関連・地域の産業振興の阻害原因となっているといっても過言ではない状況にあります。

このような中で当該道路が極めて重要と考えられ、早期の路線整備が図られますよう、強く要望致します。



昭和村商工会・昭和村観光協会
三島町商工会・三島町観光協会
金山町商工会・金山町観光物産協会
柳津町商工会・柳津観光協会

【重点事項】

1 7. 主要地方道 59 号会津若松三島線の自転車歩行者道の整備について

本路線は会津美里町・会津坂下町方面からの通勤・通学路として重要な役割を果たしており、朝夕の通勤・通学時間帯は交通量が多く、歩車道分離が必須な状況ではありますが、一部未設置となっているのが現状となっております。

特に、北会津町真渡地内から蟹川地内の区間においては、自転車歩行者道、自歩道が整備されていないため、通勤・通学時間帯には交互する車両との間隔が十分でなく、接触等による交通事故の危険性が高いことから高校生などは会津若松三島線（北会津町蟹川字上川崎地内）より迂回路として蟹川橋間まで阿賀川堤防を自転車通学路に利用している現状であります。

また、夕方の下校時においては照明施設等もなく人家からも離れているため防犯上からも好ましくない状況であり、早期の整備が望まれていることから下記の事項について強く要望致します。

記

1. 北会津町真渡地内より蟹川地内の県道橋本会津高田線との交差部区間（約 1.1 km）について、安全の確保のできる自転車歩行者道の早期整備を図ること



あ い づ 商 工 会

【重点事項】

1 8. 会津若松～天栄間の道路整備促進について

道路は、地域住民の生活の基盤となる重要な社会資本であると同時に、高速交通体系を構成する上でも必要不可欠なものであります。

会津地方と県南地方を結ぶ本路線は、会津若松市側の国道252号を起点とする「県道325号湯川大町線」および、天栄村側の国道118号を起点とする「県道235号羽鳥福良線」の二路線を連結する両地域にとって、産業・経済・文化の振興および生活環境と地域活性化の向上を図るためには欠くことのできない路線となっております。

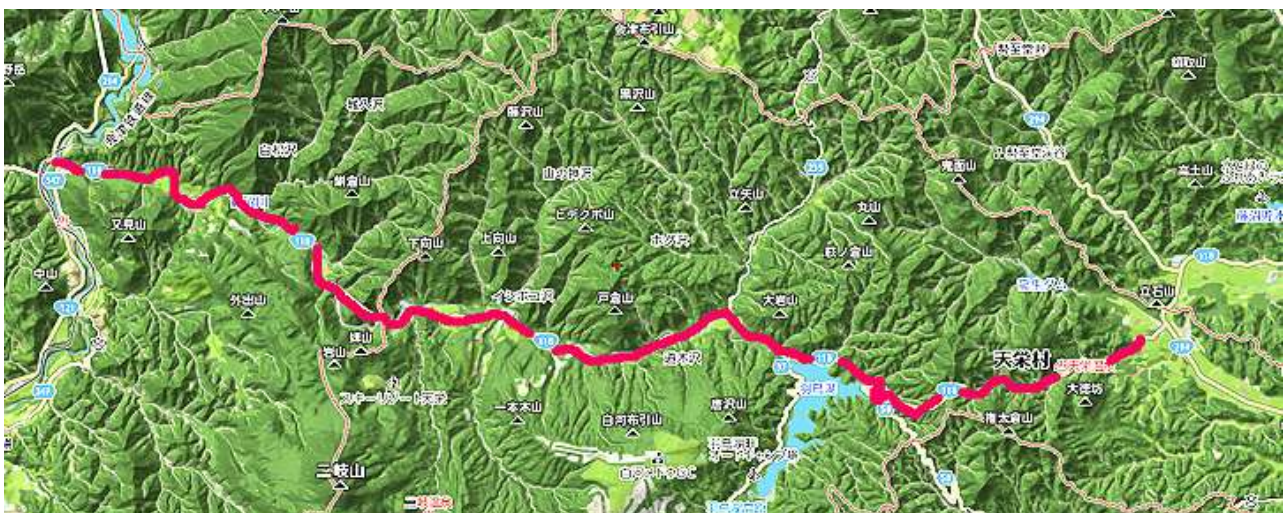
しかし、両地方を結ぶこれらの路線については、それぞれの自治体の厳しい財政状況下から、改良工事等を実施する事が困難なことから、未整備で狭隘な箇所があり、一般車両の通行に支障をきたしているのが現状であります。

会津地方と県南地方を最短距離で結ぶ本路線を整備促進する事で、大幅な時間短縮が期待できるとともに、福島空港を起点として、天栄村西部の高原リゾート、歴史的遺産の豊富な会津盆地、自然に恵まれた磐梯高原などを結ぶ広域観光ネットワークを形成することが出来るなど、多くの波及効果が期待できる最重要路線であります。

つきましては、早期に整備促進が図られますよう、下記事項の実現を強く要望致します。

記

1. 会津若松～天栄間の道路整備促進を図ること



会津若松商工会議所・会津若松観光物産協会